

—千里ライフサイエンス新適塾—
「難病への挑戦」第30回会合

「難病への挑戦：

肺がんに対する最新の薬物療法」

講師 矢野 聖二（やの せいじ）
金沢大学 がん進展制御研究所 腫瘍内科
教授

日時 2017年5月10日（水） 18:00～20:00

場所 千里ライフサイエンスセンタービル
講演会 8階 801・802号室 （18:00～19:00）
懇親会 6階 603・604号室 （19:00～20:00）

講演・懇親会ともに参加費無料

コーディネーター

菊池 章（大阪大学大学院医学系研究科 分子病態生化学 教授）

山下 俊英（大阪大学大学院医学系研究科 分子神経科学 教授）

主催：公益財団法人 千里ライフサイエンス振興財団
〒 560-0082 大阪府豊中市新千里東町1丁目4番2号
千里ライフサイエンスセンタービル20階

E-mail: dsp@senri-life.or.jp Tel: 06-6873-2001

<http://www.senri-life.or.jp>

難病への挑戦：肺がんに対する最新の薬物療法

金沢大学 がん進展制御研究所 腫瘍内科
教授 矢野 聖二

肺がんは、わが国の悪性腫瘍による死亡原因の第 1 位です。手術が不能の進行期肺がんに対する薬物療法は、免疫チェックポイント阻害薬と EGFR 変異や ALK 転座陽性症例に対する分子標的薬の臨床導入により大きな変革を遂げています。一方では、免疫チェックポイント阻害薬の有効性予測のバイオマーカー開発、分子標的薬の獲得耐性の克服、EGFR や ALK 以外のドライバー変異を有するがんに対する分子標的薬の開発等の課題が山積しています。

我々は、EGFR 阻害薬の耐性原因の一つである BIM 遺伝子多型に着目し、ヒストン脱アセチル化酵素阻害薬（ボリノスタット）が BIM 蛋白発現を回復させ耐性を解除するという独自の基礎研究成果をもとに、BIM 多型陽性 EGFR 変異肺がんを対象に、ボリノスタット＋ゲフィチニブ併用療法の安全性を検討する医師主導治験（第 1 相試験：VICTORY-J）を実施しています。また、ALK 肺がんの承認薬アレクチニブが RET 阻害活性を有していることから、RET 肺がんに対するアレクチニブの有効性を検討する医師主導治験（ALL-RET）も実施しています。さらに、有効な治療薬が開発できないとされてきた KRAS 変異陽性肺がんにおいても、KRAS 変異肺がんを上皮間葉移行（EMT）状態に応じて MEK 阻害薬と ERBB3 阻害薬（上皮型）あるいは FGFR1 阻害薬（間葉型）を併用する治療で制御できる可能性を患者由来ゼノグラフトモデルなどを用いて示し、臨床試験実施の準備を進めています。

本講演では、我々が行ってきた基礎研究から医師主導治験への展開と、医師主導治験の実施状況を紹介します。

【講師略歴】

- 1990年 徳島大学医学部医学科卒業
1995年 徳島大学大学院医学部研究科博士課程（内科系）修了、医学博士
1997年 徳島大学医学部助手（第三内科）
1997年 米国テキサス大学 MD Anderson Cancer Center(Visiting Assistant Professor)
2000年 徳島大学医学部・歯学部附属病院講師（呼吸器・膠原病内科）
2007年 金沢大学がん研究所腫瘍内科教授
金沢大学附属病院がん高度先進治療センター長（兼任）
2011年 金沢大学がん進展制御研究所 腫瘍内科教授（名称変更）
2012年 金沢大学附属病院 外来化学療法室長（～2015年3月）
2014年 金沢大学附属病院 先端医療開発センター長（～2017年3月）
金沢大学附属病院 緩和ケアセンター長（～2016年3月）
2016年 金沢大学附属病院 がんセンター長（名称変更：兼任）
病院長補佐（臨床研究開発担当）

【受賞】

- 2005年 日本癌学会 奨励賞
2010年 日本肺癌学会 篠井・河合賞
2013年 JCA-Mauvernay Award (Applied research)（モーベルネ賞）
2014年 日本がん分子標的治療学会 鶴尾隆賞
2017年 平成28年度高松宮妃癌研究基金研究助成金
金沢大学功労賞

【所属学会、研究会】

日本内科学会（総合内科専門医）、日本癌学会（評議員）、日本肺癌学会（評議員）、日本呼吸器学会（専門医、指導医）、日本がん分子標的治療学会（理事）、日本癌治療学会（代議員）、日本がん転移学会（評議員）、日本臨床腫瘍学会（理事、がん薬物療法専門医、指導医）、American Society of Clinical Oncology (ASCO)、American Association for Cancer Research (AACR)

【専門分野】

臨床腫瘍学、転移、薬剤耐性

【Editorial Board】

Cancer Science (Associate Editor), Respiratory Investigation (Associate Editor),
Annals of Oncology (Editorial Board)